

改めて、精度管理を考える

現代医療においては、臨床検査が重要な構成要素となっており、また臨床検査に関する技術はめざましく進歩しています。このような状況下にあって、精度管理(精度保証)は、臨床検査および臨床検査医学を支える最重要な柱の1つといえます。したがって精度管理は、臨床検査に携わる人々が共有すべき知識・技能であり、避けて通ることのできないものです。

精度管理には、 $\bar{X}$ -R 管理図に代表される古典的手法が今なお利用されている一方で、IT 技術を利用した新しい手法も開発されています。また精度管理の考え方自体もリニューアルされています。精度管理については十分知っているという検査関係者も、本特集をお目通しいただければ、新たな発見がきっとあると思います。あらためて、精度管理について一緒に考えてみましょう。

(佐藤 尚武)